

古代体験授業レポート

令和3年8月3日(火)

古代織物体験で、古代の人たちの生活を想像することができました。

◎展示室の見学

引率の指導員の先生方も熱心に説明を聞いていました。

展示物を見ながら遺跡や発掘の話を楽しみました！



滅多に見られない保存処理室に入り、大感動！



土器に触ったり、弾み車を回すことができました。

初めに展示室の見学を行いました。地元や近隣の土地から土器や石器が発見されたことがわかり、古代から脈々と人々が生活していたことが想像でき、大変勉強になったようです。生徒さんたちよりも引率の先生の方が熱心に説明を聞いていて、質問もたくさんしていました。次に体験室で石器や土器、火起こし器などを自由に触ったり、動かしたりして感触を確かめていました。火起こし器では、弾み車をリズムよく回すことができてビックリでした。次に、保存処理室に入り、木製品の保存処理方法などの説明を聞き、大変な仕事だと痛感したようです。

◎古代織物

今回は、腕輪（ミサンガ）を織りました。

間違わないように、慎重に織りました。

織り方の説明を聞いてから、いざ体験！



指導員の先生方も一緒に織っていました。



大変速く織り上げました。



展示室等の見学に時間がとられてしまったため、織物の歴史について詳しく説明できず、織り方の説明だけをして、すぐに織り始めました。たて系によこ系を1本おきに間違わずに通すことを慎重に行い、しばらく繰り返し織っていくと完成です。織る速さはまちまちでしたが、全員集中して取り組み、完成させることができました。

